

今こそ受精卵移植！ 牛白血病防除への活用 ①牛白血病の現状

県立総合技術研究所畜産技術センター育種繁殖研究部 森本和秀氏

【牛白血病とは】

牛白血病は、血液中の白血球(リンパ球)が異常に増えたり、悪性リンパ肉腫を形成したりする病気です。牛白血病には、ウイルスによって広がるもの(地方病型)と、原因のよくわからないもの(子牛型、胸腺型、皮膚型)の2種類がありますが、通常私たちが目にする牛白血病の95%はウイルスによる地方病型です。

牛白血病ウイルスに感染しても、ほとんどの牛は症状が現れず、生乳の生産にも影響がないと言われています。しかし、感染した牛は生涯ウイルスを持ち続け、血液や乳汁を介して他の牛への感染源となります。また、感染牛のうち1～5%の牛は、数年の潜伏期間を経た後、食欲不振やリンパ節の腫大などの症状を示し、予後不良となります。この病気に対する治療法やワクチンはありません(らくのうだよりNo.235参照)。

【牛白血病は、どれくらい広まっているのか】

平成25年の牛白血病の届出頭数は、広島県が24頭、全国では2,310頭で、年々増加の傾向が認められます(図)。届出頭数は、何らかの症状や病変がみつかった牛の頭数であり、実際の感染牛はその何十倍もいると思われます。

平成22年の調査で、中国地方の乳用牛の牛白血病陽性率は56.5%と報告されています(らくのうだよりNo.237参照)。

【牛白血病と受精卵】

牛白血病ウイルスは、卵子には感染しないとされていますので、きちんと管理されていれば受精卵を介して感染が広がる恐れはありません。

次回は、牛白血病の伝播様式について紹介します。

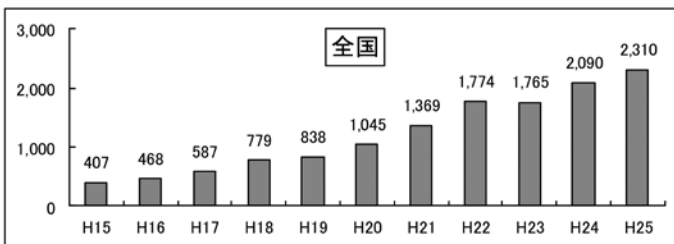
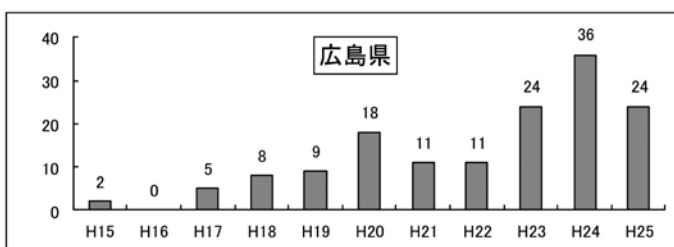


図 牛白血病届出頭数(上段:広島県, 下段:全国)

譲り渡したし「フレイルカッター」の譲渡希望

佐々木隆文組合員から、譲渡希望物件のご紹介です。譲渡条件や譲渡を希望に関する問い合わせ先は、以下の連絡先をお願いします。

■フレイルカッター

形式:サンエイ B-468

取得年月:平成6年

最大刈り長さ:4,570mm

最大刈り高さ:4,820mm

譲渡条件:現状渡し・現地引取り

譲渡希望金額:60万円(消費税込み)

連絡先:佐々木隆文氏

携帯(090-8243-8202)

